

水害時の衛生対策と消毒方法

1. 家屋等が浸水した場合

豪雨等により家屋などが浸水した場合は、洗浄やふき取りにより十分に汚れを除去して、乾かした後、消毒するようにしてください。（消毒は、汚れのない状態でないと、効果を発揮することができません。）

※消毒方法については、裏面をご覧ください。

2. 衛生対策について

家屋などが浸水した場合、次のとおり洗浄及び衛生対策を行ってください。

●床上の場合

室内は、食事や睡眠など生活を行う場所のため、泥や汚れを十分に取り除いた後、消毒を行いましょう。

- ① 水がひいた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- ② 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
- ③ 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
- ④ 食器類や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

●家の周囲や床下の場合

土砂などを取り除いたあと、水道水で洗い流し、しっかり乾かすことが重要です。

- ① 汚泥や不要なものなどを片付けてください。
- ② 庭木や外壁についた泥は、水で十分に洗い流してください。
- ③ 床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くしてください。
- ④ 床下はスコップや流水を用いて汚泥を取り除いた後、雑巾などで水気をなくし、扇風機などにより、強制的に乾燥させてください。

●食中毒予防のために

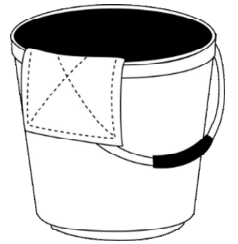
- ① 受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
- ② 水に浸った食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品はできるだけ廃棄してください。
- ③ からだに異常を感じたら早めに医療機関を受診してください。
- ④ 食事の前や用便、清掃の後などは、しっかりと手を洗ってください。

3. 消毒方法について

消毒薬は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります。使用は必要最小限としましょう。

使用方法を守り、事故が起こらないよう注意してください。

※床下浸水の場合は、汚泥の除去、乾燥が有効です。
汚染や匂いが心配な場合は、必要に応じて消毒しましょう。



《その他、家庭で使用しやすい消毒方法について》

薬局・ドラッグストア等で購入できる薬剤があります。薬品によって濃度が違いますので薄め方に注意しましょう。

消毒するところ・もの	消毒薬	調整方法（例）	使い方
屋内 （汚水に浸かった壁面や床、家財道具） ※ゴム製品、皮革製品への使用はさけてください。	0.1%塩化ベンザルコニウム （逆性石けん）	<u>塩化ベンザルコニウム 10%</u> 10ml に水を加えて1リットルとする。	①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きする ②十分に乾燥させる ③調整した液を浸した布などでよく拭く。 ④風通しをよくしてそのまま乾燥させる。 ※汚れが残っていたり、濡れている状態で行うと十分な消毒効果を発揮することができません。
手指 （後片付けなどで、汚染された箇所や土に触れた手指）			①汚れを石けんで洗う。 ②流水で石けんをよく落とす。（石けんが残っていると殺菌力が低下します。） ③洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いする。 ④乾いたタオルなどで、よくふき取る。
食器類	0.02%次亜塩素酸ナトリウム （家庭用塩素系漂白剤でも可）	<u>次亜塩素酸ナトリウム 10%</u> 2ml に水を加えて1リットルにする。	①食器等を水洗いする。 ②消毒液に5分以上浸す。 ③水ですすぐ。 ④自然乾燥させる。 ※家庭用塩素系漂白剤を用いた場合は、水ですすぐ。

※消毒液をペットボトルへ移し替えないでください。誤って飲んでしまう事故につながる可能性がありますので、必ず使い切ってください。

～お問い合わせ先～

廿日市市健康福祉総務課	TEL 20-1610
佐伯支所市民福祉グループ	TEL 72-1124
吉和支所市民福祉グループ	TEL 77-2113
大野支所健康福祉グループ	TEL 30-3309
宮島支所市民福祉グループ	TEL 44-2001